

地域連携だより

「医院と病院の連携」

今回は、病診連携についてお話しさせていただきますましたが、今回は「かかりつけ医」について紹介させていただきます。

かかりつけ医は、体調が悪いときの相談先です。慢性的な病気の治療はもちろん、精密検査や入院が必要なときには、患者様に適切な病院を紹介していただきます。病院では、それまでに得られた検査などのデータを有効に利用できるので効率よく精査治療が行えます。

健康診断にも応じ、介護保険などどんなことでも気軽に相談のつてくれます。医院によっては往診してくださる医療機関もあります。

病院で治療を受けて病状が安定し、慢性に経過する患者様、特に在宅で医療・介護を続けようという患者様は、かかりつけ医に主治医をパートナーにしましょう。強力なサポートになってくれます。

ぜひ、何でも相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう。

次の表は、今年4月から8月までの当院の初診患者数と紹介患者数を比較したものです。

	4月	5月	6月	7月	8月
初診患者	2,298	2,426	2,433	2,559	2,526
初診患者うち他医院からの紹介患者数	391	367	456	451	396

初診患者の月平均は2,448人、紹介患者数は412人で初診患者に占める紹介患者の割合は16.3%となっています。これを平成15年度の平均14.8%と比較すると1.5%の伸びを示しています。これは「かかりつけ医」等からの紹介患者の増加によるものとも考えられます。今後も調査、分析を行っていききたいと思います。



No. 3

糖尿病患者会「オリーブの会」総会



糖尿病患者会「オリーブの会」総会が9月5日開催されました。参加者は54名となり、昨年の21名から大きく飛躍しました。

これからも、「糖尿病クッキングスクール」や「皆でウォーキング」などさまざまな活動をしていきます。また、会員も随時募集しています。お問い合わせは三階西病棟看護部長様村まで。

六病院球技大会、男女ともに優勝！

9月11日、毎年恒例となっている、中東遠地区6つの自治体病院対抗の球技大会が開催されました。我が掛川市立総合病院は、菊川運動公園野球場でおこなわれた男子の野球、小笠町民総合体育館においておこなわ

れた女子のバレーボール、共に優勝という快挙を成し遂げました。選手の皆さん、お疲れさまでした。また、応援に駆けつけてくれた皆さんの皆さん、本当にありがとうございました。



女子バレーボール



男子野球

